

【同時発表】

国土交通省都市局公園緑地・景観課
国土交通省住宅局市街地建築課

令和3年6月10日
九州地方整備局

令和3年度 都市景観大賞 大賞・優秀賞の選定

『大賞』 出島地区（長崎県長崎市）

『優秀賞』 さいき城山桜ホール周辺地区（大分県佐伯市）

今般、全国各地の応募の中から、都市景観大賞が選定され、都市空間部門にて、九州から出島地区(長崎県長崎市)が『大賞』、さいき城山桜ホール周辺地区(大分県佐伯市)が『優秀賞』に選定されましたので、お知らせします。

【都市空間部門】

受賞区分	地区名	応募者
大賞	出島地区 (長崎県長崎市)	・長崎市 ・長崎自動車株式会社 ・出島町自治会 ・江戸町自治会 ・NPO 法人長崎コンプラドール ・NPO 法人長崎の食文化を推進する会
優秀賞	さいき城山桜ホール周辺地区 (大分県佐伯市)	・佐伯市 ・福岡大学景観まちづくり研究室 ・久米設計 ・スタジオテラ ・大分大学建築・都市計画研究室 ・大手前開発市民会議

《都市景観大賞》

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

都市景観大賞の詳細については、下記 URL 及び別添資料をご参照ください。

【国土交通本省 HP】 https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000371.html

※例年開催しております「まちづくりと景観を考える全国大会」において、大賞受賞者に対する表彰状授与等を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から大会及び表彰式は中止となりました。受賞地区・活動については、国土交通省ホームページ等において広く紹介される予定です。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

TEL：092-471-6331（代表）、092-707-0186（直通）

建政部 計画管理課 課長 箕口（内線 6121）

建政部 計画管理課 課長補佐 森田（内線 6132）

別添

令和3年度

都市景観大賞

受賞概要

都市空間部門

景観まちづくり活動・教育部門



「都市景観の日」実行委員会

大賞 国土交通大臣賞

出島地区

所在地 長崎県長崎市

地区面積 約1.5ha

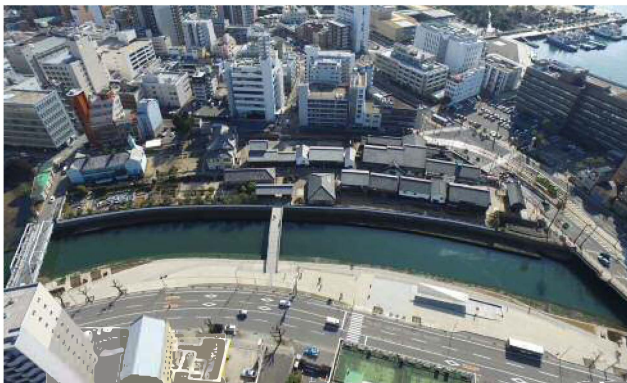
応募者 長崎市、長崎自動車株式会社、出島町自治会、江戸町自治会、NPO法人長崎コンプラドール、NPO法人長崎の食文化を推進する会

地区概要

当地区は、鎖国時代に日本で唯一西洋に開かれ貿易の窓口であった歴史的な場所でありながら、近代以降の土地利用の進展等により往時の景観が失われていた。

長崎市は、1951年から史跡地内の公有地化を進め、1996年から復元整備事業に本格着手し、これまでに16棟の建造物や石垣等を復元整備し、2017年には出島表門橋と対岸の出島表門橋公園を整備、2020年までにエリア全体の夜間景観整備を進め、約70年をかけて公共空間と建物等が一体となった歴史的景観の再生、夜間の景観等も含めた魅力ある景観の創造を進めてきた。こうした復元整備事業を進めるにあたっては地区住民の理解と協力、さらに、経済界が中心となって集められた約10億円の基金が大きな力となった。

復元整備事業が進み、2006年にゾーン化・有料化されて以降、NPO法人による建造物活用や歴史ガイド、地区住民による長崎くんち、市民団体によるイベント、日蘭交流の拠点等として活用され、2018年には年間50万人の来場者を迎え、周辺地区のみならず市全体の観光交流、にぎわいの拠点となるとともに、市を代表し、市民が誇る景観になっている。



2018年に撮影した出島地区の全景。16棟の建造物、石垣、練堀の復元、史跡地内の電線電柱の地中化、出島表門橋の架橋、出島表門橋公園の整備等を約70年かけて実現した。



2020年に撮影した出島内の様子。写真正面に写る水門まで復元建物による歴史的まち並みが続いている。

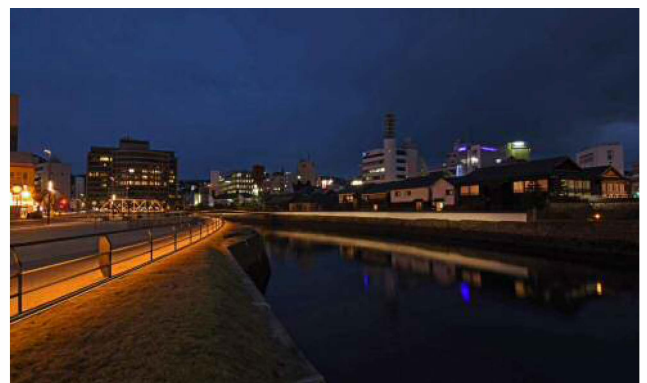
審査講評

長崎の象徴、出島の復元と対岸の公園整備を一体的に実現した、官民をあげての壮大な文化・まちづくり事業の偉大な成果である。失われた重要な歴史的都市空間を広い範囲で復元し、その景観を市街地のなかに再現した日本で最初の試みと言える。発掘調査と信頼できる史料群に基づき、丁寧に復元がなされた。次の段階で、やはり公有化された対岸の土地を公園とし、その中程に出島に入るための表門橋を架ける事業を実現した。縦割りを越え行政の総力をあげた横断的な取り組み、橋・公園の基本設計から実施設計・詳細設計まで一括発注する形でのプロポーザルによる設計者の選定、ワークショップを重ね市民の意見を取り入れて公園を創り上げた開かれたプロセス。これらの画期的な試みが市民、住民の大きな支持を得ながら、質の高い空間、景観を生み出した。史跡に荷重をかけないよう工夫された軽やかで美しい橋、公園の水際に曲線美を描く手摺など、現代の先端デザインの数々が復元された出島と対比的な景観を生み、そこに、出島、橋梁、公園の夜間照明も加わって、場所の魅力を一層高めている。観光客に人気の出島の運営、市民が参加する各種イベント、公園での様々な活動には地元住民、市民との協力が望ましい形で実現している。

歴史都市長崎の中心部に、過去と現代が対話する素晴らしい都市景観を創出したこの事業は、まさに大賞の名に相応しいものである。(陣内)



市民によって活用され、長崎市の観光交流、にぎわいの拠点となるとともに、市を代表し、市民が誇る景観となっている。



出島、出島表門橋、出島表門橋公園をそれぞれ管轄する3つの部局を超えて一体的にデザインした夜景。

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

さいき城山桜ホール周辺地区

所在地 大分県佐伯市

地区面積 約1.86 ha

応募者 佐伯市、福岡大学景観まちづくり研究室、久米設計、スタジオテラ、大分大学建築・都市計画研究室、大手前開発市民会議

地区概要

かつて佐伯の文化や活力の象徴として市民の思い入れの強かった大手前地区。一度は再開発事業が白紙撤回されるという市民の行政不信状態から、徹底した市民参加プログラムを経て、城山や周辺まち並み、隣接エリアとの繋がりを考慮した複合文化交流施設および広場、バスロータリー等の一体的整備がなされた。

市民会議によって提案された「いつでも誰でも気楽に集まれる場所」等をコンセプトに、長らく空き地となっていた大手前地区の閑散とした風景を、日常的に「人がいる風景」へと再生させた。また当該地区の整備によって既存文化ホールやバス停留所の老朽化、人と大型車の動線の交錯といったまちの課題を解決し、さらに新たな動線をつくり出すことで地区内にある既存商店街への波及効果を促す工夫も施された。

まちのランドマーク地区として生まれ変わった大手前の当該地区は、現在も商店街との連携や各種文化・交流企画の実施、さらに市民代表からなる運営委員会が市民提案の自主事業を進めるなど、佐伯市民の文化と活力を取り戻す新たな拠点となっている。

審査講評

地名の由来は中世にまで遡り、後に毛利氏によって築城され今もなお城下町の名残が散見される風向の良い港町である。城石垣が残る城山は街の象徴でありホールの名称にも採用されている。対象地区は近代以降商業の中心地として栄え、九州最大手の大型商業施設発祥の地として賑わいの中心であった。しかし、郊外型店舗の急速な進出によって大型商業施設が撤退し中心地の空洞化が加速した。最初の再開発計画は市民の反対運動によって白紙撤回に追い込まれた。その後市民会議の発足、専門家の参画によって合意形成がなされ、市民や高校生達の意見を取り入れた提案書が作られ、市民本位の施設実現に向けて大きく舵が切られた。中核を成す複合施設の謳い文句は「人がいる風景」である。透明性を保ち、周囲からアクティビティが見えることで内外のつながりが生まれた。食文化を広めるためのキッチンコートも市民の要望で誕生した。街並みへの連携はホール屋根の分節化や広々とした芝生広場により実現している。交通広場の移動と再編、芝生マウンドによる国道への遮蔽効果も人の場所づくりに貢献しているようだ。今後、周辺の歴史的街並みと連携した新たな回遊性が生まれることに大いに期待したい。(富田)



城山からの眺め。ホールの整備にあわせて既存商店街の西側(写真右)にバス停留所を移設。



ホールの北側には広場(さくらごろごろパーク)が整備され、子ども達の日常的な遊び場となっている。



市道側はホールの軒が低く抑えられ、落ち着いた質感の舗装で船頭町まで続いている。



夜間は透過性の高いホールからの明かりや内部で活動する人々の様子が地区内の景観演出に寄与している。

都市空間部門 受賞地区一覧

大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
出島地区 (長崎県長崎市)	約1.5ha	<ul style="list-style-type: none">・長崎市・長崎自動車株式会社・出島町自治会・江戸町自治会・NPO法人長崎コンプラドール・NPO法人長崎の食文化を推進する会

特別賞 「都市景観の日」実行委員会会長賞

地区名	地区面積	応募者
糸魚川市駅北地区 (新潟県糸魚川市)	約17ha	<ul style="list-style-type: none">・糸魚川市・大町区、緑町区、新七区・糸魚川商工会議所・糸魚川広域商店街・EKIKITA WORKS・株式会社BASE968・株式会社ワークヴィジョンズ

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会会長賞

地区名	地区面積	応募者
日本橋二丁目地区 (東京都中央区)	約2.6ha	<ul style="list-style-type: none">・日本橋二丁目団地管理組合・株式会社日本設計・株式会社プランテック総合計画事務所・Skidmore, Owings & Merrill LLP・日本橋ガレリアエアリアマネジメント
山口県長門市深川湯本地区 (長門湯本温泉) (山口県長門市)	約304ha	<ul style="list-style-type: none">・長門湯本温泉観光まちづくり推進会議・長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議
さいき城山桜ホール周辺地区 (大分県佐伯市)	約1.86ha	<ul style="list-style-type: none">・佐伯市・福岡大学景観まちづくり研究室・久米設計・スタジオテラ・大分大学建築・都市計画研究室・大手前開発市民会議

景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

大賞 国土交通大臣賞

活動名	活動エリア	応募者
清水港・みなと色彩計画	静岡県 静岡市	・清水港・みなと色彩計画推進協議会 ・静岡市

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活動名	活動エリア	応募者
SAPPORO フラワーカーペット	北海道 札幌市	・サッポロフラワーカーペット実行委員会
町歩きガイドツアー 「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」	山口県 萩市	・NPO萩まちじゅう博物館 ・NPO萩観光ガイド協会 ・浜崎しっちゃん会 ・須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会 ・萩往還佐々並どうしんてやろう会 ・萩市

令和3年度 都市景観大賞について

令和3年度は、下記の通り「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。

I 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1地区
- ② 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定
- ③ 優秀賞 …………… 数地区

3. 対象地区の要件

本賞は、街路や公園等の公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になります。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

[委員長]

陣内 秀信 法政大学特任教授、中央区立郷土天文館館長

[委員]

池邊このみ 千葉大学教授

卯月 盛夫 早稲田大学教授

岸井 隆幸 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、
日本大学特任教授

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 (株)GK デザイン機構代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、令和3年3月時点)

II 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …………… 1活動
- ② 優秀賞 …………… 数活動
- ③ 特別賞 …………… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象活動の要件

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰活動を選定します。

6. 審査委員

[委員長]

小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

[委員]

卯月 盛夫 早稲田大学教授

楚良 浄 世田谷区玉川小学校指導教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、令和3年3月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会 *下線は協賛団体も兼ねています

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、

(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、

(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、

(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、

(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <https://www.udc.or.jp>

令和3年6月10日

都市局公園緑地・景観課

住宅局市街地建築課

令和3年度「都市景観大賞」各賞の選定

～良好な景観に資する地区・活動について、特に優れたものを表彰～

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

今般、「都市景観の日」実行委員会に設置した審査委員会において応募内容を審査し、各部門において大賞（国土交通大臣賞）など各賞が選定されました。（詳細は別添参照）

なお、例年開催しております「まちづくりと景観を考える全国大会」につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となりました（※）。受賞地区・活動については、国土交通省ホームページ等において広く紹介させて頂く予定です。

※「まちづくりと景観を考える全国大会」において大賞受賞者に対する表彰状授与等を行う予定でしたが、同様に表彰式を取りやめることといたしました。

○大賞（国土交通大臣賞）

部門	受賞地区名／受賞活動名	所在地／活動範囲
都市空間部門	出島地区	長崎県長崎市
景観まちづくり 活動・教育部門	清水港・みなと色彩計画	静岡県静岡市

【問い合わせ先】 国土交通省 代表：03-5253-8111
都市局公園緑地・景観課 下平、渡邊（内線 32982、32985）
電話：03-5253-8954（直通）、FAX：03-5253-1593
住宅局市街地建築課 杉野、金井（内線 39633、39635）
電話：03-5253-8515（直通）、FAX：03-5253-1631